

思いやりのある生徒

確かな学力をもつ生徒

心身ともにたくましい生徒



とうだい

平戸市立



生月中学校

自信と誇りもて歩め

師も弟も走る冬



12月に入り、一段と冷え込んで、市内ではインフルエンザによる学級閉鎖の知らせが聞かれるようになりました。これまでのところ、生月の小中学校では、大きな流行に至っていません。これから、新大会や各種イベントなど、人がたくさん集まる場所にいくこともあるかと思いますが、換気、手洗いやうがい、咳エチケットに心がけて、休息と栄養を十分にとつて、2学期終わりまで、無事に駆け抜けてほしいと願っています。

さて、3年生は、いよいよ受験期に突入ということになります。願書を書いて出願し、推薦入試に挑む人から、面接練習も始まります。あと一月で今年も終わり、卒業するまで100日を切っています。それまでに、ほとんどの人の進路が決まっていることでしょうか。だけれども、なかなか勉強が手に付かないという人もいます。人にも、先日開催された県中学生空手道新大会の要項の表紙にあった言葉を紹介します。

何をやっても無駄に思えるとき、私は石工がハンマーで岩を叩き割るのを見に行く。おそらく100回叩いても、岩にはひびがほとんど見られないだろう。ところが101回目を叩いた時、岩はふたつに割れる。岩を割ったのは最後の1打ではない。それまでのすべての殴打である。

「石工の信条」として知られる話ですが、NBAのサンアントニオ・スパーズの監督の話として書かれていました。皆さんはこの話から、どのような教訓を読み取りますか。

- ① 諦めないことが大切
- ② 継続することが大事
- ③ 努力はすぐには成果に表れない
- ④ 小さな努力の積み重ねが成功につながる
- ⑤ 最後までやり抜く精神力が必要
- ⑥ 強い意志があればやり通せる
- ⑦ 為せば成る

その時の心の状態で、受け取り方が変わる気がします。それは、今の自分に足りないもの（考え方）かもしれません。頑張る受験生にもう一つ教訓を送りたいと思います。

⑧ 報われない努力はない

生徒会役員選挙

2日の午後、立会演説会と生徒会役員選挙がありました。次期生徒会本部役員を決める大切な日でした。立候補者はそれぞれの公約を掲げ、1週間ほどの選挙運動期間を経て、応援者とともに当日のステージに立ちました。公約には「笑顔」「個性」「感謝」「協力」というような言葉が見られました。今の生月中学校の良さ、さらによい良い学校にするためには何が重要かという視点でしっかりと考えた。えが述べられていました。



新生徒会役員

会長 濱田□□さん
副会長 久家□□さん
副会長 西澤□□さん
書記 鳥山□□さん

表彰伝達

朝ごはんレシピコンテスト
井・のつけ飯部門
優秀賞 吉永□□さん
長崎県中学校総合文化祭
西彼・西海大会
絵画の部
入選 岳下□□さん

書部の部
入選 松永□□さん
「伝えよういのちのつながり」
エッセイコンテスト
優秀賞 大川□□さん
「ごはん・お米とわたし」
コンクール

図画の部
長崎県農業協同組合
中央会会長賞Ⅲ部
岳下□□さん

